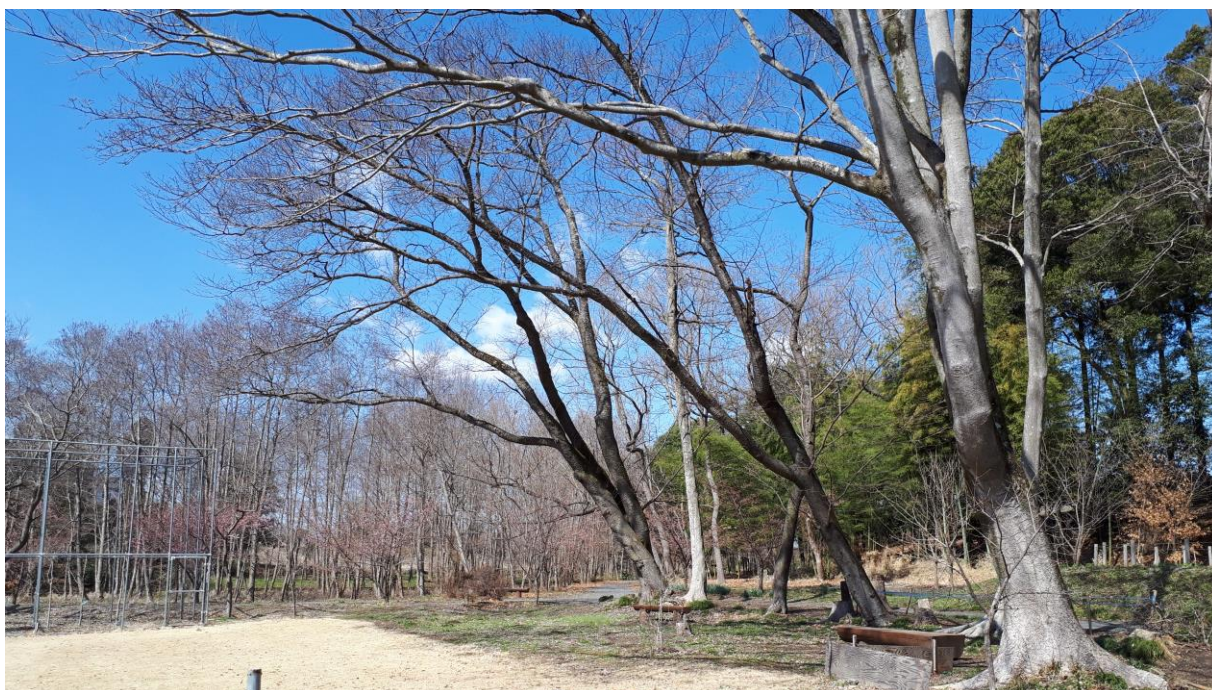


清水洞の上自然を守る会
創立10周年記念誌



清水洞の上自然を守る会
平成31年3月



目次

1. 発刊にあたって	1
2. 発刊を祝して	5
3. 歴代会長紹介	11
4. 10年間の活動記録	17
5. 表彰歴	29
6. 発表歴	33
7. 助成金（ご協力いただいた企業や公共団体）	37
8. 歴代役員と会員数	41
9. 規約	45
10. 清水洞の上地区の維持管理に関する協定書	51
11. 編集後記	59

1. 発刊にあたって





清水洞の上自然を守る会

10周年記念誌発刊にあたって

清水洞の上自然を守る会
会長 桜庭 壮恵

清水洞の上自然を守る会の歩みは、清水洞の上公園の歩みそのものであります。10年前にその一歩を踏み出した関係者の大きな決断、そしてここまで継続して来た先輩諸兄の信念と努力に敬意を表し感謝致します。今10年の節目を迎え、その記録を後世に残すことは次代を担う人々にとって意義深く参考になるものが多々あると思われます。自然にふれ合える身近な公園として、人々に癒しを、そして子供達に自然への体験を提供する公園として貴重な存在となり、地域の大きな財産となるでしょう。市の公園として、全てを市に委ねることをせず管理運営を地域のボランティア団体が担う新しい試みの先駆けでもあります。更に一部関係者では常陸風土記にある「曝井」の所在地として伝々されております。未だ全体計画の中では半分程度の完成となっておりますが、豊富な湧水を利用した池には鯉の姿、ザリガニ釣り体験、水生植物の観賞、更に流れに沿った木道では、夏の夜のほたる観賞会等訪れる人々を癒しております。春の桜、秋の紅葉を想定した植栽の成長が待たれる所でもあります。

さて、次の10年に向かってスタートです。公園の拡張は進むでしょう。そして否応なく少子高齢化の波は押し寄せて来るでしょう。会員の世代交代の時期が来る事は必至です。五台地区まちづくり委員会との連携を強めることが必要になるかも知れません。色々な状況の中でも10年培って来たボランティア団体としての誇りと高い使命感を持ち、絆で結ばれた団結力を持って活動していくことが肝要であると思えます。

最後になりますがこの「記念誌」を纏めるにあたってご尽力いただいた皆様方、ご執筆いただいた諸先輩方々並びに関係者の皆様方の御協力に深く感謝し、御礼申し上げます。更に日頃の活動に御理解・御協力いただいている関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

今後尚一層の御指導と御鞭撻をお願い申し上げ発刊の挨拶とさせていただきます。

2. 発刊を祝して





清水洞の上自然を守る会

10周年記念を祝して

那珂市長
先崎 光

このたび、清水洞の上自然を守る会設立10周年を迎えられ、記念誌を発行されますこと誠にめでたうございます。

会長の桜庭様をはじめ、歴代の会長、管理運営に携わったすべての皆様に敬意を表する次第であります。

清水洞の上自然を守る会は良好な自然環境を次世代に引き継ぐことを目的に平成20年に発足され、翌年の平成21年には市との「清水洞の上地区の維持管理に関する協定」を締結し、自然保護と周辺環境の整備に取り組んでまいりました。その結果、平成23年には「清水洞の上公園」が誕生いたしました。公園のコンセプトである「自然を肌で感じられる憩いの空間」のもと、市内外から散策に訪れるかたが年々増えていると伺っております。また、清水洞の上地区の豊富な湧き水や山林を活かし、ホテルを生息させることにも取り組まれ、会員の皆様の試行錯誤の結果、平成24年には公園にホテルが飛び交う姿が観察されました。毎年開催される「ほたる鑑賞会」におきましては、ボランティア団体や地元女性部会も協力し、今では地域をあげたイベントになっております。

さらに、近隣の幼稚園や小学校に呼びかけ、ザリガニ釣り体験や水辺に生息する生き物の観察などを行っていただいております。また茨城大学との参画プロジェクトである「生きものひたち紀行」におきましては、公園内にオオムラサキが生息する大きな発見もあり、その保護に努めるなど皆様のご努力に改めて敬意を表する次第であります。

急激な都市化や農薬などより、一昔前は当たり前だった光景が、今では大変貴重なものとなっており、清水洞の上公園の自然は大変価値があるものであります。この自然を次世代へつなぐために、市としましても今後とも公園の整備などを進めてまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、清水洞の上自然を守る会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念しましてごあいさついたします。



清水洞の上自然を守る会

10周年記念を祝して

那珂市前市長
海野 徹

この度、『清水洞の上自然を守る会』が、平成20年6月に設立されてから、弛むことなく活発なご活動を展開され、10年の節目をお迎えになりましたことを心からお祝い申し上げます。併せまして、初代会長の小菌井博士さん、二代目鈴木孝雄さん、三代目後藤和夫さん、そして現会長桜庭壮恵さんの歴代の会長さん、熱心に活動に参加されております会員の皆様に衷心より敬意を申し上げます。

顧みますと、清水洞の上公園の整備構想は、現在、社会福祉協議会会長の中村健さんが那珂町議会議員としてご活躍の時期に、清水寺と湧水池を核とした自然公園の整備を地域活性に結びつけようと地元の有志の方々と連携し、行政に提案し採用されたように聞いております。

その後、開発に伴う『環境アセスメント』も実施し報告書も作成されました。しかしながら、多額の事業費が予測されたことから、計画は塩漬けとなり長年放置されてきました。

第一次整備計画は、寺門義一元副市長と中村健さんが連携し茨城県からの助成金を活用し、平成23年に整備完了となりました。

第二次整備計画は、現在進行中で平成31年度に完了する予定です。事業費は森林湖沼税を活用して整備するものです。

残された整備面積の4.4haが完成しますと11.6haの清水洞の上公園が完成します。森林湖沼税等を活用し是非とも早期の完成を切望致します。

往時、此処には水車が複数設置され、精米や製粉などが頻繁に行われ農業従事者の交流の場であったことが想像されます。また、湧水量が多いことも想像できます。

公園工事が進む中、常盤短期大学の瀧口泰行名誉教授が、万葉集に記載されている『曝井（さらしい）』の所在地は那珂市の『清水洞の上公園の泉』が相応しいと、2013年度に論文で指摘しました。

今後、瀧口教授の指摘を活発化させ、この地が『曝井』であることが証明されれば、公園の知名度や来訪者は格段に向上すると考えます。

結びに、『守る会』の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げましてお祝いの言葉と致します。



～まちづくりの担い手は

志民（＝ボランティア）～

五台地区まちづくり委員会
委員長 根本 良久

「清水洞の上自然を守る会」創立10周年記念にあたりご挨拶申し上げます。
那珂市五台地区に歴史と文化、そして自然の地形を生かして市民の憩いの場所となる清水洞の上公園が行政とのパートナーシップで維持管理されています。その公園の維持管理をしている「清水洞の上自然を守る会（以下「自然を守る会」という）が創立10周年を迎えられましたことにお祝いを申し上げます。特に「自然を守る会」の発起人である地元東木倉地区の皆様や地権者及び賛同会員の皆様に対しましても会費の納入をはじめ清水洞の上公園のボランティア活動など御礼と感謝を申し上げます。また、那珂市においてもこれらの活動に対して経済的・人的支援を行っていただいておりますことに心から感謝いたします。私は、先日行われた「協働のまちづくり推進フォーラム」において、まちづくりの担い手は**志民（＝ボランティア）**であり

- 社会改善の先駆者
- 市民によるコミュニティづくり
- ほどよい世話役が地域を紡ぐ こと、

そして協働を進めるための3段階として

- 共感 ～ 協力関係・交流：出会い 関わる
- 共同 ～ 対等関係・理解：一緒に 気兼ねなく
- 共生 ～ 互助関係・生活：いつでも ふだんに

ということを学びました。まさしく市民協働による自然公園の創設には**志民（＝ボランティア）**の活動が重要であるということでもあります。市民が「自然を守る会」を結成し、この組織の目的である清水洞の上地区の豊かな自然を保護し、市民の憩いの場所を提供するという大きな目的に向かって共感し、共同し、共生して清水洞の上公園を自らの手で創設する素晴らしさ、まさに市民協働の成果だと思えます。

春には花しょうぶや桜の花が咲き・夏には蛍の観賞やザリガニ釣りなど四季折々に楽しむことが出来る清水洞の上公園が完成しております。これからも**志民（＝ボランティア）**の皆様による園内の草刈り作業や施設の整備等の維持・管理を継続していただき市民や県民の人気スポットの場となることを念願するとともに関係者の皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

3. 歴代会長紹介



10年間の歴史に思いを込めて

初代会長
平成20年度～平成22年度
小菌井 博士



「清水洞の上自然を守る会」が10周年を迎えることができました。これもひとえに、会員の皆様のボランティア精神とご協力、継続させてきた努力の賜物であると思います。また那珂市商工観光課のご支援ご指導によるものでもあり、深く感謝申し上げます。

平成16年に「清水洞の上地区整備計画策定委員会」が設立され、私も地権者代表として委員を拝命しました。委員会では土浦や笠間、日立などへの先進地視察研修を行いました。会議では「地元の願い」を述べる場面が多くあり、熱く意見を述べた記憶があります。

県の「森林湖沼環境税」の補助事業による市の工事が進む中、地元組織「守る会」を作ることになりました。その規約づくり、事業の骨組みの策定に取り組みました。これにより、市と守る会とで「協定書」締結に至ったことが、大きな前進となりました。また五台地区区長会に出席し、入会を呼びかけた結果、区長・副区長様全員に会員になっていただき、さらに大きな前進となりました。寺門義一元副市長様、元市議の中村 健様のお力添えに感謝します。

平成20年6月「清水洞の上自然を守る会」の設立総会が開かれて、会の活動が開始されました。竹林2,000本の伐採、地域内の草取り、倉庫の改修、案内板づくり、檜丸太138本の皮むき、会員の棟梁野木利三郎様によって東屋「利三郎庵」を建築しました。

毎年来園者が1,000人を越えるようになった「ほたる観賞会」も、会員の手作業で進めてきました。ホタルの小川に子供会と共同でホタルの餌になるカワニナ1,000匹の放流、岸边緑地の保存等を行いました。

平成23年5月「清水洞の上公園開園式」で、海野徹前市長様4人でのテープカットは感無量の思いでした。策定委員長3年、守る会会長3年の計6年の集大成でありました。

結びに当たり、今後も「清水洞の上自然を守る会」が楽しく継続されていくこと並びに愛される清水洞の上公園になっていくことをご祈念申し上げます。

創立10周年を記念して

第2代会長
平成23年度～平成26年度
鈴木 孝雄



竹やぶが生い茂り荒れ放題化していた那珂市東木倉「清水洞の上地区」那珂市五台地区の南端部に位置する「東木倉」湧水・谷津田・斜面林・溜池等で構成される約15haの地区です。斜面林や湿地帯を整備し自然再生の取り組み里山を残して行こうとする動きが地元有志達によって、その行動が広まりつあり清水洞の上自然を守る会の原点につながっていった。

さかのぼること平成5年3月那珂町は、「那珂町観光基本構想」を策定し、町民1人1人が誇りに感じるような地域、個性を掘り起こしての必要性を基軸に観光基本構想の中で「清水洞の上地区」を観光資源としてのイメージを策定して、一連の調査をまとめ平成7年3月に「清水洞の上地区整備研究調査報告書」を取りまとめ町も動き出した。

平成16年11月「第1回清水洞の上地区周辺整備計画策定委員会」を開催した。構成メンバーは、有識者・学識経験者・地権者・五台地区区長会・町民代表・一般公募委員・町役場関係職員であった。委員長に小菌井博士氏(地権者代表)を選出し総勢21名のメンバー、13中でも五台地区区長会の果たした役割は大きく現在につながって「五台地区まちづくり委員会」へとなっている。今各自治会からのボランティア動員にもつながっている。

その後、環境の保全と地域の利活用方法について、平成16年度～平成17年度の2年間検討を重ね4回の先進地視察研修、平成18年2月第7回策定委員会(整備構想案策定)が最後の会議となった。

結びに会長4年間を振り返り「信頼と絆」が、最大の力でありました。特に印象深かった事を列挙しました。

- ① 平成19年6月小菌井委員長に、那珂市副市長寺門義一氏より会議申し入れがあり東木倉公民館で開催、副市長「この事業は、市が責任を持って、工期10年予算1億円で完成させます」と言い切った。前倒し4年での開園
- ② 平成20年6月守る会結成・平成23年5月開園式
- ③ 平成26年6月NHK水戸放送局ニュースワイド「いばらナイト」放映で紹介され「清水洞の上公園」その時からメジャー的存在に今後とも会員ともども一層の協力をして参ります。

創立10周年に寄せて

第3代会長
平成27年度～平成29年度
後藤 和夫



公園開発の議論が、当時の五台分館、区長制度の下で進められ、自治会制度へ移行後8年弱が経過ししつつありますが、今回10周年記念を迎えることとなり、月日の経つのは早いものと感慨深く感じるところであります。その間、那珂市の協力の下、公園整備が着々と進められ、昨年「2期工事その1」が終了したわけで、今や那珂市有数の公園として、地域の皆様に親しまれています。

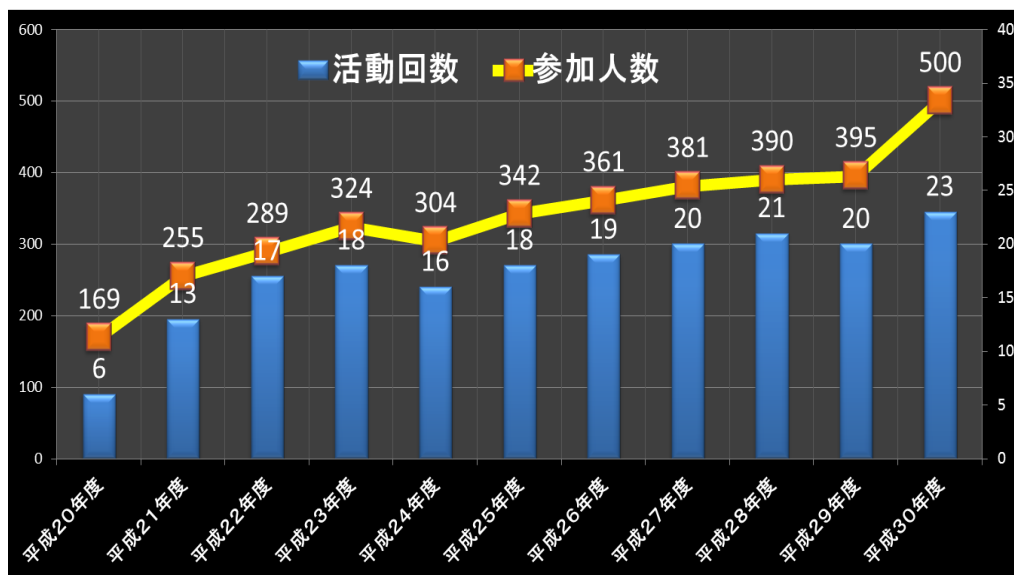
当時は、「公園開発は昔の自然環境を破壊してしまうのではないか」との趣旨での発言を行い、開発に消極的でありましたが、地元有志による努力により、即ち、施設の維持管理に加え、イベント等を通じて、今や県内でも著名な公園（「みんなで！いばらナイト」TV放映の影響もあり）となりました。当初は、東木倉地区有志のみのボランティア参加であったが、平成26年に五台地区全体の取組として、11自治会からそれぞれ2名ずつの参加に編成替えをしたことにより、名実ともに五台地区の公園となったわけです。

在任中、印象的なのは、何と言っても、茨城県の代表として、平成27年10月に実施された国土緑化推進機構理事長賞受賞のために岐阜県での第39回全国育樹祭への参加であります。全国植樹祭は、天皇陛下がご出席なされるが、育樹祭は、皇太子殿下がご出席で、華やか且つ素晴らしいイベントとなったものでした。

今やボランティア活動ということが話題になる機会が多いが、開設当時、公共施設の維持管理を地元民が行うということは、希なことで、地域の発展は、自助共助で進める先駆けとなったわけです。

「清水洞の上公園」に隣接する中台地区においても、「息栖の森ふるさと公園」を造成中であり、将来、洞の上公園との遊歩道連結を目指して、5年の竣工計画で進めつつあり、現在、残り1年3か月の造成工事を進めつつあります。

4. 10年間の活動記録



1. 茨城県元気な森林づくり活動支援で竹林間伐

最初に手掛けた竹林間伐(2,000本以上)6日間延べ200名参加



2. みんなの力で東屋(利三郎庵)制作



3. 蛍の餌になるカワニナを子供達と一緒に放流



日本ホテルの会、本多会長
他役員の方々に現地調査依頼



カワニナと茨城新聞(平成24年7月14日)



4. 初めての「ほたる観賞会」2013年7月6日



つばね会



中山サツさん



5. 清水洞の上公園開園式(2011年5月22日)



6. 清水洞の上公園一周年事業(5/20)



小学生の絵画展(入賞者とその作品)

7.

子供会と一緒にザリガニ釣り大会2013年8月



8.

五台小学校2年生課外授業(6/2)



ザリガニ釣り70名参加

9.

清水クラブの協力で木製ベンチ制作&設置



10.

小鳥の巣箱づくり(60個製作し20個設置)



11. 子供広場の整地と芝張2012年5月～6月



準備された芝(470束)

芝張中(1,000㎡)

12. かわづ桜の植栽と階段整備2011年11月



会員提供のかわづ桜植栽



整備された階段NO1、階段NO2

13.

会発足当時の事務所周りの風景

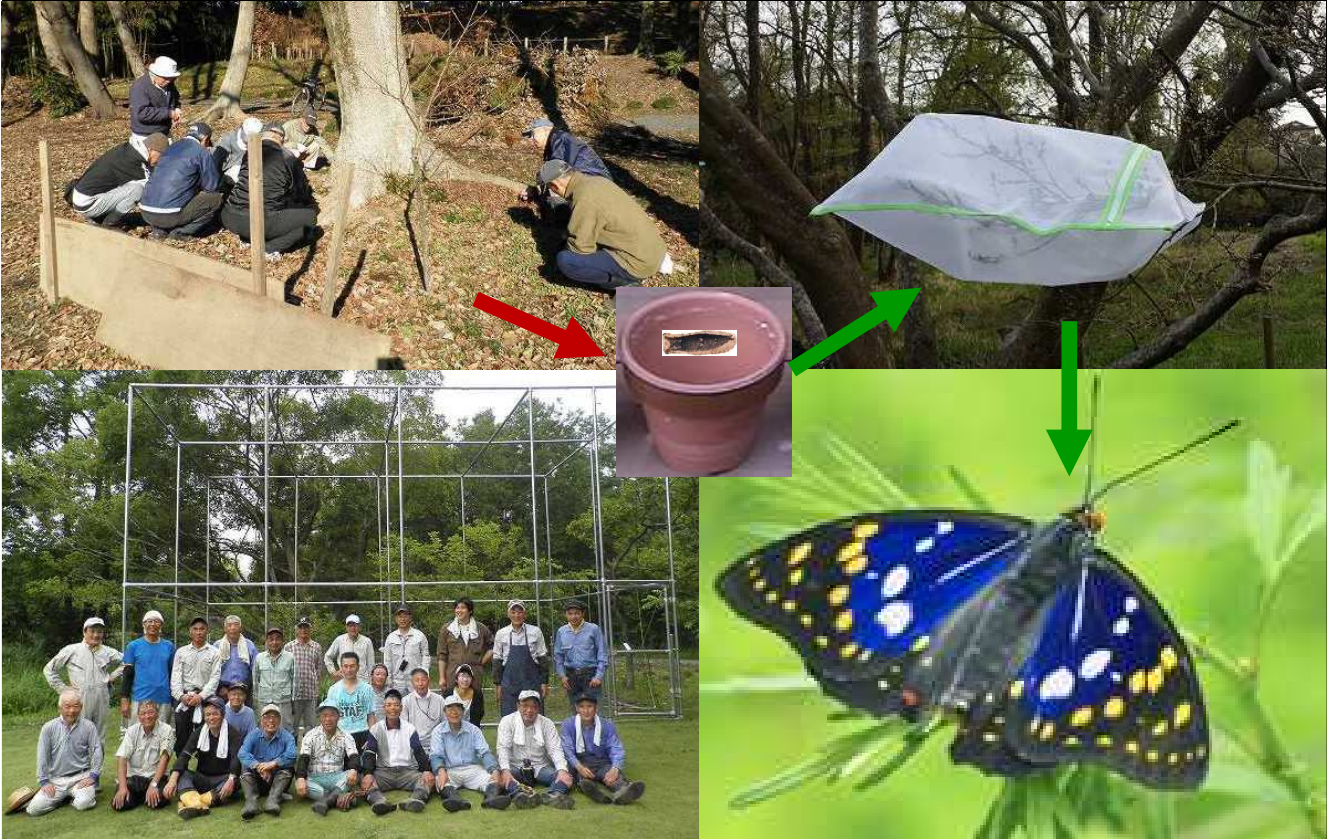


14.

会発足当時の子供広場や観察池周りの風景



15. オオムラサキを飛ばそう！！(茨城大学)



16. 初めての田植え(マンゲツモチ)h28/5/22



17. NHK「みんなでいばらナイト！」生出演(h25/6/18)



まついえつこ

川又永愛

17

18. 筑波学院大学OCP活動参加(4/24)



企業・ボランティア42団体が参加。2学年生120名を対象に説明。今年度1名参加

19. 茨城女子短期大学課外学習(5/12)



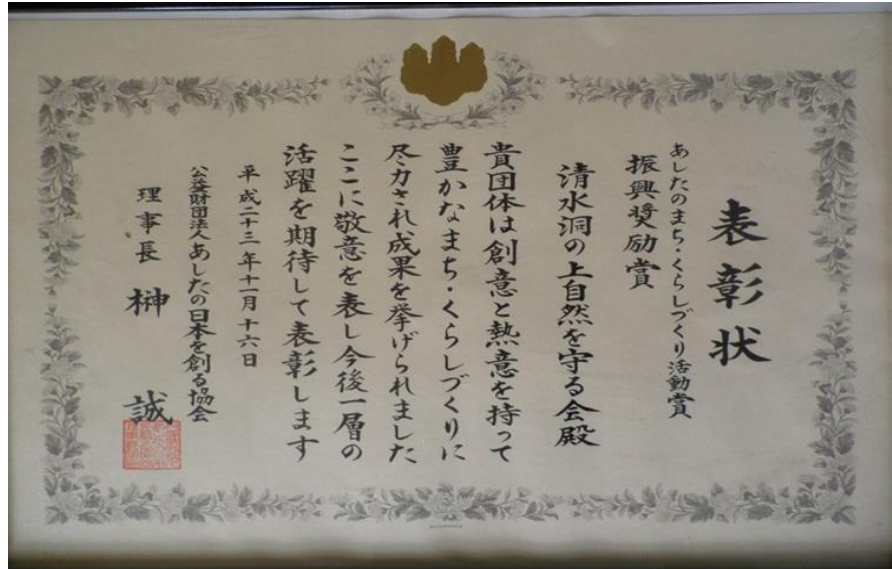
2組に分け合計100名参加

20. イオン那珂町店黄色いレシートキャンペーン(4/15,9/11,11/11)



平成27年度:41,100円→平成28年度:41,000円→平成29年度:75,450円→平成30年度:46,200円

5. 表彰歴



5. 表彰歴

下表に10年間の表彰歴を示します。

表5. 1 表彰歴一覧

NO	内容	日付	機関
1	あしたのまち・くらしづくり活動賞「振興奨励賞」	2011年11月16日	公益財団法人あしたの日本を創る協会
2	2012年度いばらきコープ環境基金助成事業「贈呈」	2012年3月24日	いばらきコープ生活協同組合
3	第25回福祉・文化顕彰「賞状」	2013年1月28日	財団法人常陽新聞厚生文化事業団
4	第35回那珂市社会福祉大会「表彰」	2013年11月30日	社会福祉法人那珂市社会福祉協議会
5	平成26年度環境保全茨城県民会議ほう賞	2014年4月24日	環境保全茨城県民会議議長
6	全国緑化推進機構理事長賞（全国育樹祭・岐阜県）	2015年10月11日	公益社団法人国土緑化推進機構

6. 発表歴



6. 発表歴

下表に10年間の発表歴を示します。

6. 1 発表歴一覧

NO	発表タイトル	日付	場所
1	協働のまちづくり推進フォーラム先進事例発表	2012年3月10日	那珂市中央公民館
2	いばらきコープ環境基金助成団体活動発表交流会	2012年3月24日	茨城県霞ヶ浦環境科学センター
3	(公財) 日野自動車グリーンファントム活動発表会	2012年11月17日	日野自動車21世紀センター
4	なか自然・森づくり団体活動事例報告会 清水洞の上周辺の里山づくり	2012年11月24日	那珂市総合センターらぼーる
5	東木倉自治会総会 行政とのパートナーシップで管理運営する自然公園	2013年4月14日	那珂市東木倉公民館
6	茨城女子短期大学保育課野外学習 清水洞の上周辺の里山づくり	2013年5月24日	那珂市東木倉公民館
7	日立市滑川ほたるの里づくり委員会 清水洞の上周辺の里山づくり	2013年12月18日	那珂市東木倉公民館
8	まちづくりフォーラム (ポスターセッション)	2014年3月29日	那珂市総合センターらぼーる
9	筑波学院大学OCP合同説明会	2015年4月20日	筑波学院大学
10	自然環境保全・生物多様性保全活動発表大会	2016年3月4日	那珂市中央公民館
11	茨城女子短期大学保育課野外学習 清水洞の上周辺の里山づくり	2016年6月3日	那珂市東木倉公民館
12	ごだいふれあい祭り	2016年11月27日	ふれあいセンターごだい
13	筑波学院大学OCP合同説明会	2017年4月24日	筑波学院大学
14	茨城女子短期大学保育課野外学習 清水洞の上自然を守る会の歩み	2017年5月12日	那珂市東木倉公民館
15	ビオトープ天神の里を守る会へのPR	2017年10月7日	那珂市東木倉公民館
16	ごだいふれあい祭り	2017年11月26日	ふれあいセンターごだい
17	根本正顕彰会公開講座	2018年2月18日	那珂市中央公民館
18	平成29年度まちづくり養成講座市内団体事例発表	2018年2月18日	那珂市中央公民館
19	筑波学院大学OCP合同説明会	2018年4月23日	筑波学院大学
20	茨城女子短期大学保育課野外学習	2018年6月1日	那珂市東木倉公民館
21	イオン那珂町店周年祭展示	2018年10月20日	イオン那珂町店
22	いはらき中央明社塾	2018年11月18日	那珂市中央公民館
23	ごだいふれあい祭り	2018年11月25日	ふれあいセンターごだい

7. 助成金

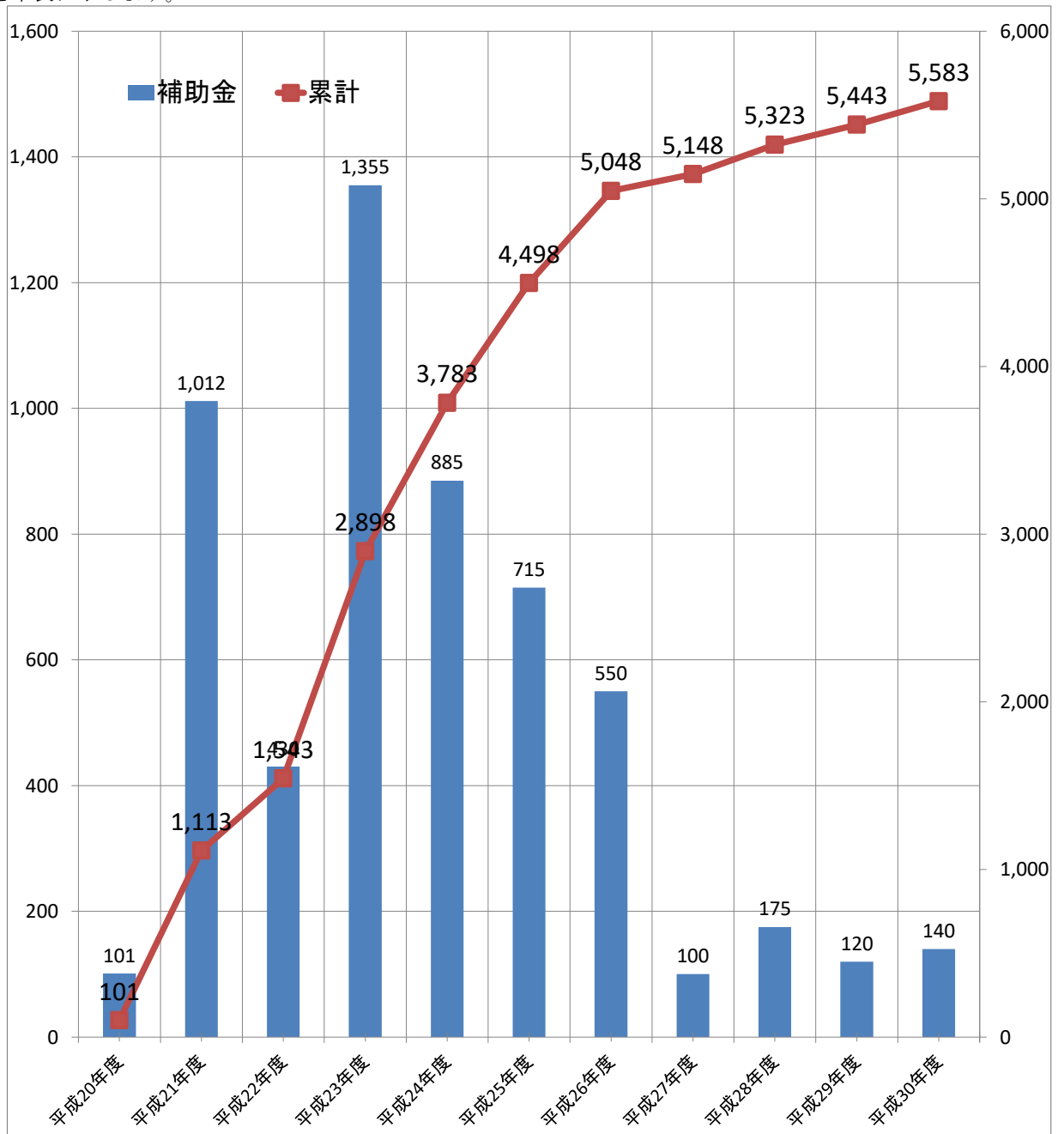


7. 助成金

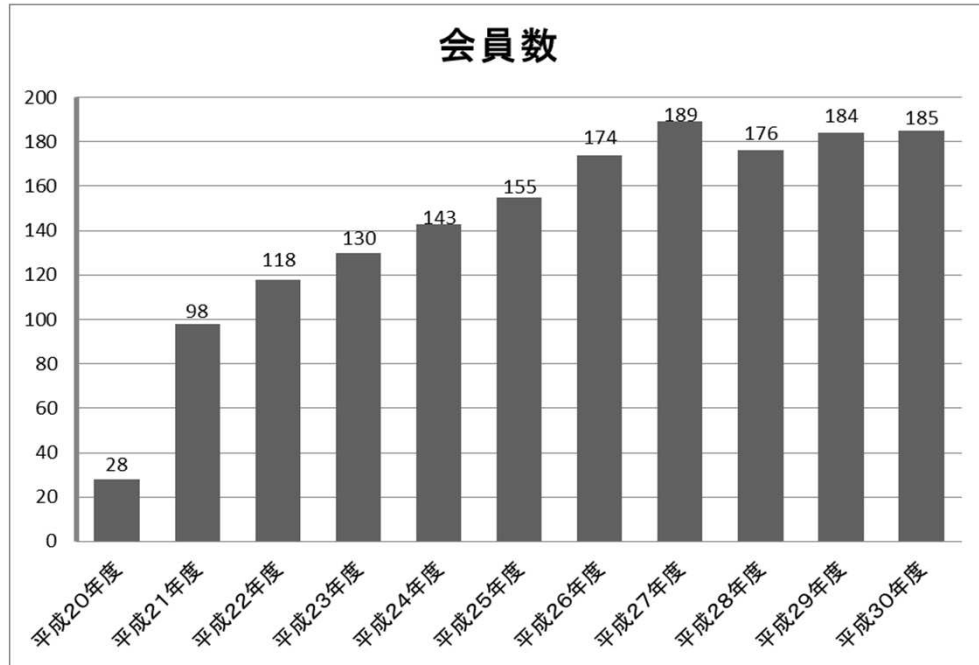
企業及び公共機関からの助成金・補助金の年度別推移を下表に示します。

K¥

NO	年度	助成金・補助金名称	金額(円)
1	20	元気な森林づくり	101,000
2	21	元気な森林づくり補助金H20残	11,600
3	21	那珂市補助金	75,000
4	21	元気な森林づくり補助金	225,000
5	21	大成建設補助金	500,000
6	21	県緑化推進機構補助金	50,000
7	21	エコーいばらき補助金	100,000
8	21	いばらきコープ補助金	50,000
9	22	元気な森林づくり補助金H21残	25,000
10	22	那珂市補助金	75,000
11	22	森林整備ボランティア団体活動補助金	30,000
12	22	公益信託「エコーいばらき」環境保全基金	50,000
13	22	いばらきコープ環境基金	100,000
14	22	那珂市観光協会（看板補助金）	150,000
15	23	那珂市市民活動支援事業	500,000
16	23	那珂市補助金	75,000
17	23	森林整備ボランティア団体活動補助金	30,000
18	23	公益信託「エコーいばらき」環境保全基金	50,000
19	23	いばらきコープ環境基金	100,000
20	23	日野自動車グリーンファント	400,000
21	23	日本グランドワーク協会	200,000
22	24	大好きいばらき県民会議	100,000
23	24	那珂市市民活動支援事業	500,000
24	24	財団法人常陽新聞厚生文化事業団	50,000
25	24	茨城県緑化機構	30,000
26	24	那珂市補助	75,000
27	24	茨城コープ環境基金	100,000
28	24	エコーいばらき	30,000
29	25	大好きいばらき県民会議	100,000
30	25	花王ハート・ポケット倶楽部	150,000
31	25	那珂市補助金	75,000
32	25	国土緑化推進機構（前金）	250,000
33	25	茨城コープ環境基金	100,000
34	25	エコーいばらき	40,000
35	26	那珂市補助金	75,000
36	26	国土緑化推進機構（後金）	250,000
37	26	元気な森林づくり	225,000
38	27	茨城県県央農林事務所	25,000
39	27	那珂市補助金	75,000
40	28	那珂市補助金	75,000
41	28	大好きいばらき地方創生助成金	100,000
42	29	まちづくりリーダー養成講座発表謝金	5,000
43	29	エコーいばらき	40,000
44	29	那珂市補助金	75,000
45	30	那珂市補助金	100,000
46	30	茨城県緑化推進機構	40,000
合計			5,582,600



8. 歴代役員と会員数



8. 歴代役員と会員数

役員名称	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
顧問	中村健	中村健	中村健	中村健	中村健	中村健
顧問	海野進	海野進	海野進	海野進	海野進	海野進
顧問					小藪井博士	小藪井博士
顧問					海野隆	海野隆
顧問						
顧問						
顧問						
会長	小藪井博士	小藪井博士	小藪井博士	鈴木孝雄	鈴木孝雄	鈴木孝雄
副会長	中川忠雄	鈴木孝雄	海老澤季雄	海老澤季雄	伊藤喬章	伊藤喬章
副会長	鈴木孝雄	海老澤季雄	高橋正夫	高橋正夫	高橋正夫	宮田経詔
副会長			根本良久	根本良久	根本良久	後藤和夫
幹事長					坂場實	坂場實
幹事	高橋正夫	中川忠雄	中川忠雄	中川忠雄	中川忠雄	根本秀雄
幹事	海老澤季雄	高橋正夫	坂場實	坂場實	海老澤季雄	海老澤季雄
幹事	野木利三郎	野木利三郎	鈴木孝雄	見川泉	見川泉	見川泉
幹事	坂場實	坂場實	見川泉	野木利三郎	野木利三郎	野木利三郎
幹事	見川泉	見川泉	吉崎二郎	後藤和一	後藤和一	後藤和一
幹事	吉崎二郎	吉崎二郎	後藤和一	根本満重	根本満重	根本満重
幹事		後藤和一	根本満重	岩間経典	岩間経典	岩間経典
幹事		岩間経典	岩間経典	海野隆	金澤昌男	金澤昌男
幹事		根本満重	海野隆	伊藤喬章	江幡主税	江幡主税
幹事		海野隆	伊藤喬章	小藪井博士	根本清一郎	根本清一郎
理事	寺門隆	寺門隆	寺門隆	車田務	車田務	山田均
理事	鈴木文夫	井上清	井上清	増子孝之	増子孝之	藤根毅
理事	峯島壽	峯島壽	車田務	三田寺正義	三田寺正義	海野安夫
理事	廣瀬眞澄	廣瀬眞澄	鈴木重夫	鴨志田弘	鴨志田弘	星正次
理事	杉山肇	鈴木重夫	三田寺正義	高橋昌三	高橋昌三	筒井光圀
理事	中山祥二	中山祥二	後藤和夫	後藤和夫	後藤和夫	石川孝次
理事	鈴木正徳	根本良久	菊池義敬	菊池義敬	菊池義敬	菊池義敬
理事	山田進	細割長重	宮田経詔	宮田経詔	宮田経詔	山田満彦
理事	細割長重	山田進	後藤勝丸	後藤勝丸	後藤太	後藤太
理事	後藤勝丸	後藤道弘	峯島壽	峯島壽	峯島壽	峯島壽
理事	後藤道弘	根本秀雄	細割長重	細割長重	細割長重	細割長重
理事	根本秀雄	後藤勝丸	後藤道弘	後藤道弘	後藤道弘	後藤道弘
理事	根本重信	根本重信	後藤太	後藤太	根本重信	根本重信
理事	植田浩		根本重信	根本重信		
事務局						
会計	根本正治	根本正治	根本正治	根本正治	根本正治	根本正治
監事	岩間経典	植田浩	植田浩	植田浩	植田浩	植田浩
監事	井上義男	井上義男	井上義男	金澤昌男	山田修	山田修
会員数	28	98	118	130	143	155

8. 歴代役員と会員数

役員名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
顧問	中村健	中村健	中村健	中村健	中村健
顧問	海野進	海野進	海野進	小藺井博士	小藺井博士
顧問	小藺井博士	小藺井博士	小藺井博士	海野隆	海野隆
顧問	海野隆	海野隆	海野隆	筒井かよ子	筒井かよ子
顧問	筒井かよ子	筒井かよ子	筒井かよ子	鈴木孝雄	鈴木孝雄
顧問	須藤博	須藤博	須藤博	後藤和夫	後藤和夫
顧問		鈴木孝雄	鈴木孝雄		
会長	鈴木孝雄	後藤和夫	後藤和夫	桜庭壮恵	桜庭壮恵
副会長	伊藤喬章	峯島正則	峯島正則	森島好雄	森島好雄
副会長	宮田経詔	桜庭壮恵	桜庭壮恵	増子健一	増子健一
副会長	後藤和夫	山田修	山田修	見川泉	見川泉
幹事長	坂場實	坂場實	坂場實	江幡主税	江幡主税
幹事	根本秀雄	根本秀雄	根本秀雄	根本秀雄	根本秀雄
幹事	海老澤季雄	海老澤季雄	海老澤季雄	海老澤季雄	海老澤季雄
幹事	見川泉	植田文弥	植田文弥	植田文弥	植田文弥
幹事	清水泰清	清水泰清	清水泰清	江幡憲明	江幡憲明
幹事	後藤和一	後藤和一	後藤和一	後藤和一	後藤和一
幹事	根本満重	安田求	安田求	安田求	安田求
幹事	岩間経典	岩間経典	岩間経典	岩間経典	岩間経典
幹事	菊池義敬	菊池義敬	菊池義敬	木村久志	木村久志
幹事	江幡主税	江幡主税	江幡主税	坂場實	坂場實
幹事	根本清一郎	根本清一郎	根本清一郎	根本清一郎	根本清一郎
理事	山田均	宮田経詔	宮田経詔	根本良久	根本良久
理事	藤根毅	伊藤喬章	伊藤喬章	伊藤喬章	伊藤喬章
理事	海野安夫	廣木夫美雄	鈴木孝雄	鈴木孝雄	鈴木孝雄
理事	星正次	峯島壽	峯島壽	峯島壽	峯島壽
理事	筒井光圀	峯島智之	峯島智之	増子眞次郎	増子眞次郎
理事	石川孝次	海野稔	海野稔	海野好文	海野好文
理事	菊池義敬	柏崎清一	柏崎清一	井上康夫	井上康夫
理事	山田満彦	石井信行	石井信行	久野光一	久野光一
理事	峯島壽	江面遠	江面遠	石井信一	石井信一
理事	細割長重	根本良久	根本良久	小野崎敏雄	小野崎敏雄
理事	後藤道弘	谷田部義孝	谷田部義孝	植田純夫	植田純夫
理事		坂本龍男	坂本龍男	山田隆夫	山田隆夫
理事				山田修	山田修
理事					
事務局		根本正治	根本正治	根本正治	根本正治
会計	根本正治	根本満重	根本満重	根本満重	根本満重
監事	植田浩	植田浩	植田浩	植田浩	植田浩
監事	山田修	見川泉	見川泉	鴨志田克之	鴨志田克之
会員数	174	189	176	184	185

9. 規約



清水洞の上自然を守る会規約

(名 称)

第1条 この団体の名称は、「清水洞の上自然を守る会」（以下「守る会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 守る会は、定められた区域内の斜面林と湿地帯からなる豊かな自然環境が残された貴重な清水洞の上地区の資源を、将来に亘り良好な環境で保全すると共に地域の福祉向上に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 守る会は第2条の目的を達成するため次に掲げる活動を行なう。

- (1) 除草及び枝打ちなどの環境整備
- (2) 施設の管理およびパトロール
- (3) 観察会やイベント等の企画、運営
- (4) その他第2条に掲げる目的を達成する事業

(組 織)

第4条 自然を守る会は、守る会の目的に賛同する個人及び企業・団体からの会員によって組織する。

(役 員)

第5条 守る会に次の役員をおく。

- (1) 顧 問 若干名
- (2) 会 長 1名
- (3) 副 会 長 3名
- (4) 幹 事 長 1名
- (5) 幹 事 10名以内
- (6) 理 事 15名以内
- (7) 事務局 1名
- (8) 会 計 1名
- (9) 監 事 2名

2 すべての役員は総会において選出するものとする。ただし、役員の選考については、理事会において選考委員が推薦できるものとする。なお、副会長については、五台地区自治会連合会より選出する。

3 顧問は、守る会の運営に対して助言を行う。

4 会長は守る会を代表し、守る会を統括する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときは、会長の職務を代行する。

6 幹事長、幹事は、第3条に掲げる活動を企画し推進する。

- 7 理事は、重要な会務を処理する。
- 8 事務局は、守る会の事務を行なう。
- 9 会計は、守る会の会計を行なう。
- 10 監事は、守る会の会計事務全般の監査を行なう。
- 11 選考委員は、幹事をもってあてる。

(役員任期)

第6条 役員任期は2年とし、再任は妨げない。

ただし、任期満了の前に辞任した場合における後任者は、前任者の残任期間とする。

(総会)

第7条 総会は、年1回通常総会を会長が招集し、議長になる。また、必要に応じ臨時総会を招集することができる。

- 2 総会の議事については、出席者の過半数の賛成をもって承認する。
- 3 総会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 規約の改廃に関する事。
 - (2) 事業計画及び収支予算に関する事。
 - (3) 事業報告及び収支決算に関する事。
 - (4) 役員等の選出に関する事。
 - (5) その他特に必要な事項に関する事。

(幹事会)

第8条 幹事会は、会長、副会長、幹事をもって組織し、必要に応じて会長が招集し議長にあたる。

- 2 幹事会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 事業の企画立案に関する事。
 - (2) 守る会の運営に関する事。
 - (3) 総会に関する事。
 - (4) その他特に必要な事項に関する事。

(理事会)

第9条 理事会は、全役員をもって組織し、必要に応じて会長が招集し議長にあたる。

- 2 理事会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 総会に関する事。
 - (2) その他特に必要な事項に関する事。

(経費)

第10条 守る会の経費は、会費、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会費)

第11条 年会費は、個人は1口1,000円。企業・団体は、1口3,000

円とする。

2 企業・団体における特別な申し出については、口数に係りなく収受する。

(会計年度)

第12条 守る会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終わる。

(事務所の所在地)

第13条 守る会の事務所は会長宅に置く。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、守る会の運営に関して必要な事項は会長が定める。

附 則 この規約は平成20年 6月17日より施行する。

平成21年 5月17日より施行する。

平成22年 5月23日より施行する。

平成24年 5月27日より施行する。

平成25年 5月26日より施行する。

平成26年 5月25日より施行する。

平成27年 5月24日より施行する。

10. 清水洞の上地区の維持管理に関する協定書



清水洞の上地区の維持管理に関する協定書(第3回変更)

那珂市(以下「甲」という。)と吉田清水神社(以下「乙」という。)及び清水洞の上自然を守る会(以下「丙」という。)とは、清水洞の上地区の維持管理に関し、次のとおり協定を締結する。

(協定の目的)

第1条 この協定は、甲乙丙が相互に協力し、第3条に掲げる協定の対象とする区域(以下「対象区域」という。)を適正かつ円滑に維持管理するために必要な事項を定めることを目的とする。

(協定の期間)

第2条 この協定の期間は、平成30年4月1日から平成35年3月31日までとする。

2 この協定の目的を達成するため特に必要のある場合には、甲乙丙協議の上、この協定を更新することができる。

(対象とする区域)

第3条 協定の対象区域は、別紙のとおりとする。

(整備の内容)

第4条 甲が行う整備の内容は、次に掲げるとおりとする。

区 分	内 容
周辺環境の整備	植栽、下刈、除間伐、枝打ち、作業路の開設、標識の整備、池の整備
保全活用施設の整備	遊歩道(木道)などの施設の整備、刈払機・チェーンソー・チップパーなどの機材の整備、駐車場及びトイレの整備

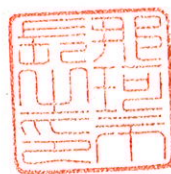
(費用の負担等)

第5条 甲は、前条に定める整備に必要な経費について負担する。

(乙の責務)

第6条 この協定に基づき、乙は、次の各号に定める事項を遵守するものとする。

- (1) 協定の期間中は、協定の目的に基づき協力すること。
- (2) 協定の期間中は、対象区域を開発等による転用はしないこと。
- (3) 甲又は丙が、協定期間中に、森林体験、学習活動など対象森林を使用することを乙に申し出たときは、乙はこれに協力すること。
- (4) 協定の期間中に標識等を設置する場合には、これに協力すること。
- (5) 乙の所有する土地の境界及び所有権等の権利に関し、第三者から異議申立があった場合は、その処理解決に当たること。



(丙の義務)

第7条 この協定に基づき、丙は、次の各号に定める事項を遵守するものとする。

- (1) 協定の期間中は、対象区域の適正な維持管理について甲及び乙に協力するとともに、次の維持管理活動を行う。

管理パトロール及びごみ清掃 管理上必要な草刈り

管理上必要な樹木の伐採・枝打ち 管理上必要な植栽 休憩所兼物置の維持管理

刈払機・チェーンソー等の機材の保管、管理

管理上必要な各種施設の整備及び管理

トイレ及び駐車場の清掃及び管理

その他管理上必要な作業

- (2) 別紙様式による活動状況報告書を作成し、対象区域における活動状況を、甲に報告すること。
- (3) 協定の期間が終了した後においても、第1条の目的が達成されるよう適正な維持管理及び利活用に努めること。
- (4) 1号に掲げる活動のうち、管理上必要な各種施設の整備を行う際には、事前に甲と協議するものとする。

(保険加入義務)

第8条 丙は、第7条の維持管理活動を行うに当たっては、必要に応じ傷害保険等の保険に加入するものとする。

(活動費の助成)

第9条 甲は、丙に対して予算の範囲内で活動費を助成する。

(書類の整備)

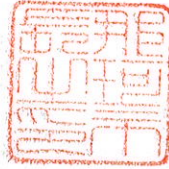
第10条 丙は、維持管理活動の実施に係る次に掲げる書類等を整備し、甲に提示する。

- (1) 活動状況の記録に関するもの。
- (2) 助成金の収支に関する帳簿等及び証拠書類に関するもの。
- (3) 清水洞の上自然を守る会の規約等及び構成員の名簿に関するもの。

(紛争・緊急時の処理)

第11条 維持管理活動に起因する第三者との紛争処理については、丙の責任により解決するものとする。

- 2 前項の場合によるもののほか、維持管理活動に関し丙の責めに帰しがたい紛争の処理については、甲丙協議して解決するものとする。
- 3 維持管理活動に関し事故や災害等の緊急事態が発生した場合、丙は速やかに必要な措置を講じるとともに、甲に対し緊急事態発生を報告を行うものとする。



(協議事項)

- 第12条 この協定に定めのない事項又は疑義の生じた事項については、甲乙丙協議の上、定めるものとする。
- 2 この協定を証するため、本書3通を作成し、甲乙丙それぞれ記名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

平成30年 4月 1日

甲 茨城県那珂市福田1819-5

那珂市長 海野 徹



乙 吉田清水神社

宮司 小川 博宣



丙 清水洞の上自然を守る会

会長 桜庭 壮恵



別紙

(甲)那珂市所有地



番号	所在	地番	枝番	地目	地積(m ²)	地権者
1	西木倉字宮下	109		原野	401	那珂市
2	西木倉字宮下	109	1	田	1,251	那珂市
3	西木倉字宮下	124		田	1,596	那珂市
4	西木倉字宮下	127	2	原野	104	那珂市
5	東木倉字清水	230		原野	309	那珂市
6	西木倉字宮下	115	2	田	1,353	那珂市
7	東木倉字清水	233	1	原野	45	那珂市
8	東木倉字清水	234		山林	287	那珂市
9	東木倉字清水	233		山林	484	那珂市
10	西木倉字宮下	129		畑	836	那珂市
11	東木倉字清水	227		田	2,745	那珂市
12	東木倉字清水	236		畑	561	那珂市
13	西木倉字宮下	128		山林	207	那珂市
14	東木倉字清水	240	2	畑	494	那珂市
15	東木倉字清水	176	3	山林	261	那珂市
16	東木倉字清水	177	4	山林	41	那珂市
17	東木倉字清水	181		山林	1,207	那珂市
18	東木倉字清水	177	3	山林	86	那珂市
19	東木倉字清水	237	1	田	171	那珂市
20	東木倉字清水	237	2	畑	47	那珂市
21	東木倉字清水	219	1	宅地	444	那珂市
22	東木倉字清水	218	1	田	416	那珂市
23	東木倉字清水	225	1	宅地	202	那珂市
24	東木倉字清水	235		畑	345	那珂市
25	東木倉字清水	242	2	ため池	221	那珂市
26	東木倉字清水	240	4	墓地	132	那珂市
27	東木倉字清水	244	3	公衆用道路	45	那珂市
28	東木倉字清水	221		田	30	那珂市
29	東木倉字清水	220		田	3,199	那珂市
30	東木倉字清水	225		畑	1,580	那珂市
31	東木倉字清水	219		田	302	那珂市
32	東木倉字清水	218	2	用悪水路	99	那珂市
33	東木倉字洞ノ上	201		田	1,304	那珂市
34	東木倉字洞ノ上	202		田	1,600	那珂市
35	東木倉字洞ノ上	205	1	田	376	那珂市
36	東木倉字洞ノ上	212		山林	441	那珂市
37	東木倉字洞ノ上	209	1	田	834	那珂市
38	東木倉字洞ノ上	209	2	山林	143	那珂市
39	東木倉字洞ノ上	210		田	552	那珂市
40	東木倉字洞ノ上	203		畑	1,230	那珂市
41	東木倉字洞ノ上	204	1	田	238	那珂市
42	東木倉宮後	197		山林	31	那珂市
43	東木倉宮後	196		山林	742	那珂市

別紙

4
4
4
4
4
4
5
5
5
5
5
5

(乙)

番号
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

(その作)

番号
1
2
3
4
5

別紙



44	東木倉字洞ノ上	198		山林	318	那珂市
45	東木倉字洞ノ上	200		原野	1,514	那珂市
46	東木倉字洞ノ上	211	2	山林	140	那珂市
47	東木倉字洞ノ上	213		山林	537	那珂市
48	東木倉字洞ノ上	199		田	1,801	那珂市
49	東木倉字洞ノ上	206		田	2,520	那珂市
50	東木倉字洞ノ上	215		山林	1,206	那珂市
51	東木倉字洞ノ上	194	2	公衆用道路	992	那珂市
52	東木倉字洞ノ上	202	2	用悪水路	364	那珂市
53	東木倉字洞ノ上	203	2	用悪水路	146	那珂市
54	東木倉山ノ神	421	2	公衆用道路	274	那珂市
合計					36,804	

(乙) 吉田清水神社所有地

番号	所在	地番	枝番	地目	地積(m ²)	地権者
1	東木倉字清水	217		山林	291	清水神社
2	東木倉字清水	231	1	山林	4,245	清水神社
3	東木倉字清水	238		山林	2,071	清水神社
4	東木倉字清水	240	1	山林	372	清水神社
5	東木倉字清水	242		山林	551	清水神社
6	東木倉字清水	244		山林	2,423	清水神社
7	東木倉字清水	241		宅地	393	清水神社
8	東木倉字清水	243		境内地	568	吉田神社
9	東木倉字宮西	182	1	宅地	65	吉田神社
10	東木倉山ノ神	216	3	山林	317	吉田神社
11	東木倉山ノ神	216	2	山林(一部)	221	吉田神社
12	東木倉山ノ神	216	4	山林(一部)	141	吉田神社
13	東木倉山ノ神	216	1	山林	2,415	吉田神社
合計					14,073	

(その他)

番号	所在	地番	枝番	地目	地積(m ²)	地権者
1	東木倉山ノ神	429		山林	100	個人
2	東木倉山ノ神	430		山林	103	個人
3	東木倉山ノ神	431		山林	98	個人
4	東木倉山ノ神	432		山林	583	個人
5	東木倉宮後	24		畑(一部)	992	個人
合計					1,876	



編集後記

清水洞の上自然を守る会が創立されてから、10周年を迎えるに至りました。

この記念すべき年を迎えるに当たり、記念事業の一つとして、10年の活動の足跡を後世に記録として伝承する為、記念誌を発刊することと致しました。

しかし、何分不慣れな為まだまだ内容不十分が多々あるかと思いますが、精一杯の努力と熱意をお汲み取り頂きたいと思えます。

短期間で無理なお願いにもかかわらず執筆していただきました皆様方には、編集委員一同心から感謝申し上げます。

私たちは、この10年間の歴史を再認識して、一層の団結と交流を含め益々組織の飛躍、発展を目指しますので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本誌発刊にあたり、先輩諸氏・関係機関に多大なるご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます編集後記と致します。

編集委員会

顧問	小藺井博士	幹事	後藤和一
会長	桜庭壮恵	幹事	安田求
副会長	森島好雄	幹事	岩間経典
副会長	増子健一	幹事	坂場實
副会長	見川泉	幹事	根本清一郎
幹事長	江幡主税	会計	根本満重
幹事	根本秀雄	理事	山田修
幹事	海老澤季雄	事務局	根本正治



これからも、清水洞の上公園の維持管理に努めてまいります。おわり！！

創立10周年記念誌



那珂市清水洞の上公園
清水洞の上自然を守る会
創立10周年記念樹
(イチイの木)
那珂市商工観光課寄贈

清水洞の上自然を守る会

創立10周年記念誌



那珂市清水洞の上公園
清水洞の上自然を守る会
創立10周年記念樹
(吉野ツツジ4本)

歴代会長寄贈

1. 小菌井 博士 (初代)
2. 鈴木 孝雄 (2代)
3. 後藤 和夫 (3代)
4. 桜庭 壮恵 (現在)

清水洞の上自然を守る会